

第63回

通常総会

5月18日・札内福祉センター

23年度に農協 中長期計画策定



総会で挨拶する高橋組合長

本組合の第63回通常総会が5月18日午前9時から札内福祉センターで開催されました。総会には正組合員143名が出席（委任・書面議決を含む。出席率62%）し、平成22年度事業報告、23年度事業計画の設定など10議案を審議し、全議案が原案通り可決決定しました。

まず高橋組合長が挨拶の中で3月11日の東日本大震災に触れ、「被災された方々に心からお見舞い申し上げたい。当農協としてもJAグループの一員として復興に向け協力していく」との考えを示し、昨年の農協運営については「春先の天候不順、夏の猛暑により耕種・畜産両部門ともに大変厳しい1年だったが、農協の農畜産物取扱高は交付金を除き34億3千万円、前年比1億2千万円の増加となった。事業効率化と経費節減に取り組んだことに加え、厳しい環境下、組合員の日頃の弛まぬ営農

努力と結集が一定の収益確保をもたらしたものと深く感謝申し上げたい」などと挨拶。

未処分 剰余金 6千3百万円

総会議長に中島孝さん（白人西部）、櫻井憲和さん（途別南）を選出し、議事に入りました。

22年度事業報告では、当期末処分剰余金（前期繰越剰余金を含む）が6千3百万円、処分案では利益準備金、任意積立金等を除いた部分について出資配当（0・8%）、



議長を務めた櫻井さん（左）、中島さん

事業分量配当（2千万円。当期剰余金の37%）の明細が示され、財務健全化のため出資配当の全額と事業分量配当の40%を出資金に充当する提案があり、賛成多数で可決されました。

TPP交渉の参加反対決議

23年度の収支計画では、事業総利益が5億5千万円、経常利益は2千7百万円、当期末処分剰余金は2千9百万円を見込んでいます。新年度の固定資産の取得については馬鈴薯集塵設備、タイヤシヨベル、長芋貯蔵庫冷蔵設備整備など。また、23年度は当農協の中期農業振興計画・農協運営計画（第7次）策定年にあたり、向こう5年間の農協の運営方針や農業振興計画を定め、来年度の総会に提案の予定です。

総会ではこのほか、「例外なき関税撤廃を原則とするTPP交渉への参加に反対する」とする貿易交渉に関する決議を採択。最後に高橋組合長が「今年こそは天候に恵まれ、努力した結果が報われる年」と挨拶し、閉会しました。

幕別町 畜産まつり

最高位に輝く！

乳牛（経産）の部 中村由治さん出陳牛



乳牛（経産）最高位の中村由治さん出陳牛

23年度の幕別町畜産まつりが6月4日、町育成牧場で行われました。昨年は宮崎県で発生した口蹄疫の影響で中止しており、2年ぶりの開催となった今年は、町内各地の畜産農家の皆さんが丹精込めて育てた牛馬約100頭が出陳され、体型や毛並みを競いました。審査の結果、札内地区からは乳牛（経産）の部で中村由治さん出陳の「セントベール GW ロイス E T号」が見事最高位を獲得、また種馬（雄）の部では加藤静子さん出陳の「誉」が準最高位に輝きました。なお、準最高位を獲得した加藤静子さん出陳の「誉」は、7月21・22日開催の十勝総合共進会に出陳いたしますので、皆様の応援をよろしくお願いいたします。